

市民と議会を結ぶ架け橋

No.68

令和4年
2月発行

上野原市 議会だより

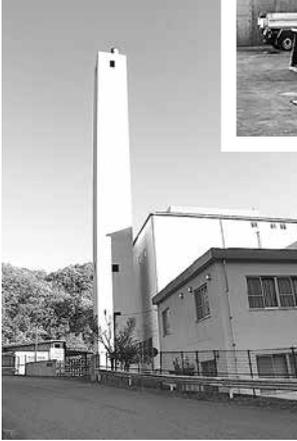
12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
ごみ収集で働く人

特集 うえのはらで頑張る人	2
新年のあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	5
議決結果等一覧表	9
会期中の審査	10
一般質問	11
市民の声	16



うえのはらで頑張る人 Vol.21 ごみ収集で働く人



雨の日も、風の日も、市民が快適な毎日を送れるために、ごみ収集の仕事にあたっている皆さんに日頃の思いを伺いました。ごみの減量化は、市政の大事な課題の一つですが…。

地域の快適生活に向けて
「私たちは、走っています」

回収作業での悩みは

■ 収集日のルート、時間はほぼ同じです。その時の回収量の多さなどで普段より遅くなる時もありますが、ごみは必ず回収しています。しかしながら今日は遅いと言われる嫌な思いをする事もあります。

■ 普段より早めの回収の時もあります。結果、後出しとなっても回収していないとクレームの電話が入ります。

ゴミ出しは収集日の「朝8時までに決められた集積場所に出して下さい」となっております。このルールをまず守ってほしいです。



分別徹底とルール順守を

■ 可燃ごみの日に不燃物を布などに包んで分らないようにして出されると回収車など機械の故障の原因になるのでやめてほしい。是非ルールやモラルを守ってほしいです。



■ 集積場所に出せるごみの分別は4分類になっているが、中でも不燃物でルール通り仕分けがされていないゴミ出しも見られ、回収後に仕分けなど余分な労力が費やされている。特に、ペットボトルは資源回収品なので、可燃ごみと一緒にしないでほしい。

■ 不燃ごみは、回収日が少ないので、回収後に出されると放置状態になるので、十分に注意してほしい。

集積場所やごみの出し方は

■ 市内・山間部を問わず狭隘道路が多いため、回収時にバック運転を余儀なくされる箇所もあり、人や塀などに細心の注意を

払って回収作業を行っています。

■ ゴミ袋からマスクやティッシュなど袋から出て散乱していることもあり、きちっと袋口を縛ってほしい。散乱したごみはトンブで集めその場で回収しています。

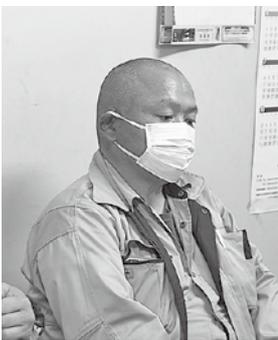
■ 最近では集積指定場所以外に個別にごみを出されることが多く、そのため、回収作業の効率が悪くなっています。

■ 高齢者宅など分かっていると、道路奥に出されていても、ゴミ袋を取りに行き回収しています。



コロナ禍の中で

■ 回収車にはアルコールを常備し、マスクをつけ、手洗いを、うがいを適宜に行い、特に人との接触、会話には常に気を使っています。ゴミ



袋等にウイルスが付着している恐怖もあり、大変な状況が続いています。

やりがいを感じる事は

■ 作業時に「お疲れ様・頑張ってください」とか「気を付けて」との声掛けや、袋に「ありがとう」「ご苦勞様です」のシールが貼つてある時は嬉しいですね。

行政や議会に望むことは

■ 市民に、モラルと出す物のルールを守る様に指導を徹底してほしい。

取材を終えて

■ 日常、ごみの回収は滞りなく対処されているものと思いましたが、ごみを出す側の分別意識やルール順守の低さも見受けられました。円滑なごみ処理が出来なければ、コストの削減にも繋がりません。一人一人の意識の持ち方が大切であることを取材を通して強く感じました。



いぬい

議長 尾形重寅

新年明けましておめでとございます。
市民の皆さまには、新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が未だに収束しない中、私たちは新しい生活様式を余儀なくされています。市議会においても、各種行事への出席を断念したり、研修への参加をオンラインで行ったりと、その生活様式の変化を体感しております。一方で、皆さまと接する機会が少なくなり、開かれた議会の実現が困難となっている事を非常に残念に思っております。

幸い、皆さまのご協力のおかげで、現時点における市内感染者の発生は抑えられています。変異株のオミクロン株が世界的に流行しており、今後いつまた感染の波が来るかは不透明な状況です。市議会としても、その都度、コロナ対策について、市民や市内事業者に対し最善の策が講じられるよう、提言を行ってきたところではありますが、今後とも国・県・近隣市町村等の動向を注視しながら、市民にとって何が最善であるかを考えていきたいと思っております。

今後も、より積極的に皆さんの声に耳を傾け、市議会としてのチェック機能の役割を果たす中で、行政と一体となって、この上野原市の市政発展に尽力する所存です。

結びに、新しい年が皆さまにとって幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



内田 倫弘



八木 一雄



山口 薫



白鳥 純雄



遠藤美智子



川田 好博



東山 洋昭



川島 秀夫



杉本 公文



山口 好昭



長田喜巳夫



杉本 友栄



尾形 幸召



岡部 幸喜

12月定例会

定例会で決まった 主なこと

令和3年第4回定例会が11月30日から12月15日まで16日間の日程で開催されました。

審議された議案

市長提出議案

25件

※ 議案名・議決結果等は9ページをご覧ください。

議案第114号

上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について

条例制定

特別職、職員の期末手当を年間0・15月引き下げ

山梨県人事委員会勧告により特別職及び一般職員の期末手当の支給割合を年間0・15月引き下げるものです。この改正に関する条例は、上野原市長、副市長及び教育長の給与などに関する条例・上野原市職員給与条例・上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例です。

施行日 令和3年12月1日

議案第115号

上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について

条例制定

市の財政状況に鑑み
市長等の期末手当を減額支給

市の財政状況に合わせ、市長、副市長及び教育長の令和3年12月に支給する期末手当を0・3月減額して支給する新たな条例です。

施行日 令和3年12月1日

議案第132号

上野原市過疎地域持続的発展計画の策定について

計画策定

秋山地区が新過疎法の対象

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日から施行され、秋山地区が対象になったため、新法に基づき過疎計画を策定し、秋山地区の事業に有利な地方債などの各種支援措置を活用するために策定しました。



秋山地区・富岡

議案第124号 上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について

条例制定

桂川テニス場が改修され
用途と名称が変更されます

桂川テニススコートの改修に伴い、フットサル場としても利用できるようになります。桂川テニス兼フットサル場と名称が変更され、使用料の改正が行われます。

新利用料金（市内）

テニス 700円
フットサル 2100円
1面・1時間あたり



議案第120号 上野原市緑地等利用施設条例の一部を改正する条例制定について
議案第121号 上野原市森林総合利用施設条例の一部を改正する条例制定について

条例制定

キャンプ場等の管理者制度と
使用料金が改正されます

緑と太陽の丘キャンプ場は、指定管理者制度を導入し利用料金も改正され、鶴川溪谷平野田休養村は、利用料のみ改正されます。

議案第123号 上野原市学校給食費管理条例制定について

条例制定

学校給食費の公会計化

これまで学校が管理していた学校給食費を公会計化とし、管理に関して必要な事項を定めるものです。公会計化の実施により、教職員の事務負担の軽減や給食費の徴収・管理業務の効率化等が見込まれます。

施行日 令和4年4月1日

準備行為は公布の日



四方津給食調理場

議案第134号、議案第136号 人権擁護委員の推薦について

人事案件

人権擁護委員候補の推薦

令和4年3月31日をもって任期が満了するので、佐藤満氏・中村秀樹氏・鷹取奈保子氏の3名の推薦について、全会一致で適任とすることになりました。

指定管理

市立病院、指定管理者の指定

指定管理の期限が切れるため、引き続き現在の公益社団法人地域医療振興協会を指定管理者に指定しました。

【指定管理期間】

令和4年4月1日から令和14年3月31日まで
10年間（現行3年間）

【減価償却費相当額の負担】

条文に追加しました。

今後、医療機器を整備する上でお互いがコスト意識を持ち協会のスケールメリットを生かした共同購入も比較した中で、戦略的な投資を行うため、条文に追加し、経営改善を図る5年間は免除し、6年目以降は協会の決算状況や社会動向を鑑みながら協議により決定する。

【計画と実績のチェック】

事業計画管理表により、計画と実績のチェックを管理運営協議会において行い、5年後を目途に効果を協議する。

【運営交付金】

年間2億円（年度協定において明記）

組合設立

ごみの広域処理のため 環境事務組合を設立

富士北麓・東部地域には上野原市・都留市・富士吉田市の3カ所のごみ処理施設がありますが、いずれも竣工してから長期間が経ち、老朽化が進んでいます。県のごみ処理広域化計画に基づき検討が進められてきました。

一昨年10月に西桂町に新たなごみ処理施設を建設することで、関係12市町村の合意ができました。この事務処理をするために、12市町村で一部事務組合「富士・東部環境事務組合」を設立するものです。事務組合は令和4年2月1日に設立し、定員20名の議会が作られます（上野原市からは2名を選出）。令和14年度の稼働をめざし、建設がすすめられる予定です。



平成9年10月竣工から23年が経過し、老朽化が進んでいる上野原市クリーンセンター

議案第125号 上野原市一般会計補正予算(第6号)

補正予算

補正総額2億9679万7千円

主な歳出は次の通りです。

【新型コロナワクチン接種事業】

- 新型コロナワクチン接種体制確保事業 8938万9千円
- ワクチン接種(3回目)の体制整備
- 新型コロナワクチン接種事業 5869万7千円
- ワクチン接種(3回目)の実施

以上2事業の財源はほぼ全額国庫補助金です。

- ごみ処理広域化推進事業費 143万3千円

広域環境事務組合の運営費負担金

【除雪対応費用】

- 農業用施設維持費(農道分) 41万9千円
- 林道維持費(経常経費・林道分) 1368万5千円
- 道路維持費(市道分) 1400万円

- 中小・小規模事業者等支援事業 160万円

セーフティネット、危機関連保証料

- 道路橋りょう費 1865万円

- 自然の里関連事業費 165万円

進入路測量業務委託

【二酸化炭素濃度モニタ購入】

- 小学校保健一般事務費 48万2千円
- 中学校保健一般事務費 30万8千円

- スポーツ施設整備事業費 5018万7千円

桂川テニスコート改修、旧桐原中体育館解体

議案第138号 上野原市一般会計補正予算(第7号)

補正予算

補正総額5億6984万1千円

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別支援事業 3億930万円

住民税非課税世帯に対して10万円を給付する

- 子育て世帯等臨時特別支援事業 2億6054万1千円

子育て世帯に10万円を現金で給付する

この2事業の財源は、全て国庫補助金です。

【訂正】議会だより第67号16ページの「消防団員の確保」の記事について、出動手当の記述に誤りがありました。左記のように改めます。

出動手当	変更ありません
消防団員報酬(年額)	変更ありません
団長・副団長	3000円増額
分団長・副分団長・部長	4000円増額
班長・団員	4000円増額

令和3年第4回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
114	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
115	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	可決
116	総務産業	上野原市企業版ふるさと納税基金条例制定について	
117	総務産業	上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	
118	文教厚生	上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	
119	文教厚生	上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
120	総務産業	上野原市緑地等利用施設条例の一部を改正する条例制定について	
121	総務産業	上野原市森林総合利用施設条例の一部を改正する条例制定について	
122	文教厚生	上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について	
123	文教厚生	上野原市学校給食費管理条例制定について	
124	文教厚生	上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について	
125	予算特別	令和3年度上野原市一般会計補正予算(第6号)	
126		令和3年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
127		令和3年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
128		令和3年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
129		令和3年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	
130		令和3年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第2号)	
131	令和3年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)		
132	総務産業	上野原市過疎地域持続的発展計画の策定について	
133	文教厚生	上野原市立病院の指定管理者の指定について	
134	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
135	—	人権擁護委員候補者の推薦について	
136	—	人権擁護委員候補者の推薦について	
137	文教厚生	富士・東部広域環境事務組合の設立について	可決
138	—	令和3年度上野原市一般会計補正予算(第7号)	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

(注) 議案第138号 令和3年度上野原市一般会計補正予算(第7号)は、議会最終日12月15日に、追加議案として上程されました。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巴夫
尾形幸召
岡部幸喜
尾形重寅

12月6日委員会を開催し、付託された条制制定4件、計画の策定1件の計5件について審議しました。

議案第116号は、企業版ふるさと納税基金を設置するものです。当市に本社が所在しない企業から寄付が受けられるようにし（下限10万円）、企業の要望する事業に充当するものです。当該年度を越えても、基金として積み立てることができるようになります。委員からは、企業への周知について質問があり、今後は、直接企業への説明も考えているとの答弁がありました。

議案第117号は、国税の未就学児に係る被保険者均等割額の減額措置を行うものです。

議案第120号は、緑と太陽の丘キャンプ場の指定管理制度

の導入に向けた整備と、使用料の改正を行うものです。

議案第121号は、平野田休養村の使用料の改定を行うもので、その増収分を土日祝日の人件費等に充てるということです。

議案第132号は、秋山地区が過疎地域に指定されたため、過疎地域持続的発展計画を策定するものです。これにより、有利な過疎対策事業債を発行できます。

以上、質疑後、議案第121号は、従来、バンガロー使用料等を条制で規定していなかったことは看過できないとの異議があり、起立採決を行い、他の4案件は、全会一致で、いずれも原案通り可決すべきものと決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

12月6日委員会を開催し、付託された条制制定5件、指定管理者の指定1件、組合の設立1件の計7件を審査しました。

議案第118号は、出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に、加算額の上限を1万6千円から3万円に改正を行うものです。

議案第119号は、デジタル化の推進に伴い、子ども子育て支援を行う事業者等における書面等の作成・保存について、電磁的方法によっても可能にするものです。

議案第122号は、富岡下原団地教職員住宅を地権者に無償譲渡し、丹保向団地1・2号棟を解体するため、該当部分を条例から削除するものです。

議案第123号は、学校給食費の公会計化に伴い、学校給食

費の取り扱いに関し必要な事項を定めるものです。

議案第124号は、桂川テニスコートの改修に伴い、フットサル場としても使用することから名称・料金表の改定を行うものです。

議案第133号は、現在の指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会を、引き続き令和4年4月1日から10年間指定するものです。

議案第137号は、令和4年2月1日から、県内北麓・東部地域の12市町村で、ごみ処理施設に関する事務を共同で行うため、規約を定め、組合の設立をするものです。

いずれも全会一致で原案通り可決すべきものと決定しました。

クリーンセンター火災事故と
広域化の予定



東山洋昭

通学路の「交通安全対策」



八木一雄

質問 原因と経過は。

答弁 3年2月25日発生した焼却施設火災は当初、想定外のごみつまり発生による事故であり、受託会社に責任は無いとの内容でした。その後市として作業員からの聞き取り内容やデータとの照合を行った結果、会社は作業員のオペレーションミスによる過失を認める報告書を提出しています。

質問 発防止に努めていきます。クリーンセンターの広域化の予定は。

答弁 ごみ処理施設の広域化は、富士北麓地域及び東部地域の12市町村での共同処理が決定しており、令和14年4月からの稼働に向けて事務が進んでいます。またし尿処理施設については当市単独での建設や既存施設延命化や都留市大月市との広域化等を事務レベルで調査研究を始めたところです。

質問 賠償請求額と今後の予定は。

答弁 約4億6千5百万円です。内訳は、修繕費・委託料・運搬・処分費・工事費・人件費等で、12月7日に受託会社に対して請求しています。

質問 事故の教訓は。

答弁 市民の皆様大変ご心配とご迷惑をおかけしました今回の火災事故を受け、今後は受託業者との、より一層の連携強化を図るなど、再



他に、市の観光行政と公共施設利用について質問しました。

質問

本年6月に千葉県八街市で発生した通学路での児童死傷事故を受けて、国交省、文科省、警察庁の3省庁より、緊急措置として通学路の現地確認による点検及び危険個所の把握と対策の指示が発令されました。当市の対応及び調査内容は。

答弁

この指示に基づき去る9月27日に教育委員会を主に関係機関と連携し合同点検を実施。調査対象は57箇所。対策必要箇所は39箇所を抽出。内容は重複を含め道路管理者（18箇所）、警察（6箇所）、教育委員会（21箇所）を道路改良や路面標示など対策必要箇所として設定。今後早期に対策が実施できるよう財源の確保に努め、各実施主体と情報共有を図り取り組みます。

学校周辺の狹隘道路の改良や改善、整備を重点施策として検討する考えは。

まず、上野原小学校周辺の都市計画道路「北通り線」「西通り線」について構想の廃止を視野に歩道の確保などの安全対策が図れる幅員が確保できるように検討して行きます。併せて来年度以降、通学路に防護柵・グリーンベルトの設置などの安全対策を行い児童・生徒が安心して通学できるように努めて行きます。

他に、文化財施設の整備と、まちづくり委員会提言に関する質問をしました。

質問

「都市計画道路構想」の在り方を見直す中で、「通学路の安全対策」の観点から、



家庭ごみ減量化計画(有料化)について
実施に向け、情報提供と意識啓発は！



杉本公文

質問

当市の家庭ごみ排出量は、全国平均や同規模自治体よりも多い状況にあり、年間の処理費用も約4・6億円、市民一人あたりに換算すると1万9400円で、全国平均より6300円程高額です。よって市は、令和3年度に、ごみ減量化計画を策定し、家庭ごみの有料化導入を決定しましたが、実施時期と市民への説明など周知はどうするのか。

答弁

市民の多くは知らずにいる。実施に向け理解を求め、するためにも計画の概要版などを早期に、全戸配布すべきではないのか。

議会には概要版を配布しましたが、まだ条例の改正や指定袋の価格等も決まっていないので、今後、住民説明会のタイミングでお配りする形で考えています。当然、回覧など他の方法でも周知し、情報提供を進めたいと思います。

他に、教育行政の学校等の安全対策などについて質問しました。

質問

令和3年6月に策定した計画では、令和5年1月をスタートとしており、説明会の回数等はまた具体的に決めておりませんが、広い範囲で数多くということを検討しています。

コロナ禍の状況にて、実施年度の繰り延べ見直しを行っているが、既に指定袋を採用しサイズ等も決定して6カ月も経過しているが、家庭ごみ有料化の内容



長期総合計画の策定と
まちづくり基本条例について



長田喜巳夫

質問

長期総合計画の策定については、昨年9月議会でも取り上げてきた。答弁は、根拠をまちづくり基本条例に規定し、議会関与の充実、明確化を図るとのことでした。現在の取り組み状況は。

答弁

令和4年度からの市ビジョン策定に向け、関係経費の来年度予算への計上や庁内での意識醸成を図るための職員・議員研修を今年度実施する予定です。

質問

当市の大きな課題は人口問題である。地域によれば著しく人口減少が進行している。これらの課題に取り組んでいくことは行政の任務と考える。このため人口問題は総合計画の大きな柱としていくことは必然である。一方、身近な住民要望については着実に実施していくことが求められている。

答弁

人口減少が当市の大きな課

質問

まちづくり基本条例の「自治」の内容は。

答弁

市民主体に基づく市との協働によるまちづくりです。

質問

地域住民が地域の諸課題に取り組み場合は、支援するのが行政の務めである。

答弁

市民活動支援事業補助金を制度化し支援しています。

意見

二割の負担金については見直すべきと考える。



村上市政、政策宣言の
取り組みと進捗を伺う



山口好昭

質問

情報通信事業で年間3千万円の情報通信事業に経営支援しているそれを中止して、その財源で保育や小中学校の給食費を無料化すると公約しているが、お伺いします。

答弁

ご質問の3千万円の支出につきましては、平成26年12月に取り交わされました合意事項に基づき支出いたします。3千万円の内訳いたしましては、令和2年度決算によりますと業務委託でおこなっています。行政自主放送番組作成業務委託料が1108万8千円、これと上野原市情報通信基盤整備事業の活用に係るシステム等許諾契約による利用料1801万2千円です。これまでも申しあげていますが、補助金や助成金のよな経営支援という考え方はありません。ご質問の小中学校の給食費の無料化

医師不足の富士東部医療圏



川田好博

質問

市立病院の病床利用率を上げるためには何が必要か。

答弁

原因の一つとして、医師、看護師などの人材不足があるとされます。看護師の確保に努め、一般病床から地域包括ケア病床への患者の受入れの促進を図っていきます。関係医療機関との連携を強化し、患者の紹介などをすすめていきます。

質問

市内の医師数は人口に比べて少ないと思うが。

答弁

富士東部地域の医師数の偏差値は低く、中でも上野原市の医師数は偏差値36と少ないです。

質問

県地域保健医療計画では、医師の絶対的不足を問題にせず、偏在していることだけをことさらに取り上げている。医師の平均労働時間はどれくらいか。

答弁

男性医師は、週当たり57時間35分、女性医師は52時間16分です。

質問

男性医師の超過勤務は月に75時間、年間914時間にもなる。医師の長時間労働が、医師の確保に困難を生じていると思うが。

答弁

長時間労働が医師確保の支障になっている原因の一つであると考えられます。

質問

地域外で受診すると、必要な医師数の計算から除外している。潜在的な需要を考えると、産科、小児科の充実が難しいと思うが。

答弁

小児科医師数は富士東部医療圏では人口10万あたりでは全国を下回っています。県にも潜在的な需要を考慮するよう依頼していきます。



キエーロの普及促進と助成制度
産前・産後ケア事業の充実



遠藤美智子

持続可能な上野原のため、
いま、最善の対策を！



山口 薫

質問 平成28年策定「上野原市一般廃棄物処理計画」におけるごみの減量化・資源化へ、取り組みの成果は。

ペットボトルやファイバーリサイクルの拠点回収場所の増設等により、資源化は一定の効果はありました。が、減量化については目標達成に至ってなく、更なる促進が必要と考えます。

答弁

質問 現在の当市の産前・産後ケア事業は笛吹市の産後ケアセンターの利用を促しているが、産後ママ達の環境に寄り添った伴走型支援や市独自の日帰り型産後ケア事業など、更なる支援の充実が必要ではないか。

答弁

市独自のデイケアに限らず現状の母子保健、子育て支援サービスの再構築、より利用しやすいサービスや社会資源を構築していけるよう準備を進めているところです。

他に、子宮頸がんワクチン定期接種の勧奨等について質問しました。

答弁

キエーロは可燃ごみの減量化に効果があると考えます。HPや回覧等で周知し普及促進を図ります。助成制度については補助金対象としている自治体の内容等確認し、ニーズ等勘案し検討し



質問

NTTの光の活用を市内全域で可能とし、情報の地域格差を解消しない限り市の発展は望めないと思う。現在の取り組み状況と今後の見通しについて伺います。

答弁

情報格差解消に向けて、市長自ら県とNTT本社へ出向き要望しています。該当地域に仮申込書を配布し状況調査を行う等着実に業務を進めています。

質問

地球温暖化がもたらす気候変動は、各災害や食料危機の原因にもなっています。今こそ温室効果ガス削減の強化が求められています。今後市民にどのような協力をお願いしていくのか。

答弁

温室効果ガス排出による温暖化が進んでいる現状を踏まえ、回覧で対策を訴えています。今後は実行を重視した新たな施策を検討していきたいと考えます。

質問

大規模地震が発生した場合

答弁

各防災組織に対しまして、地区防災計画の策定支援の一環として、国等の施策や防災チラシ等の要素を参考に、市のガイドラインとして、計画に盛り込んで行くよう検討します。

質問

市内に多くの防災士や防災リーダーがいます。その組織化が必要な時期と思う。仮称ですが、地域防災リーダー連絡会等を立ち上げる予定であります。

答弁



市のDX推進について

質問 市のDX推進について。

自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させると共に、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていく事が求められています。各部(課)から推薦された職員により、「上野原市DX推進計画策定プロジェクトチーム」を発足しました。

質問 市民にどんな利便性をもたらすのか。

マイナンバーカードの普及促進や、行政手続きのオンライン化により市役所への手続きをスマホやパソコンで完了させ、来庁する必要をなくす、等がごさいます。

質問 行政効率化の視点は、人口減少に伴い、当市にお

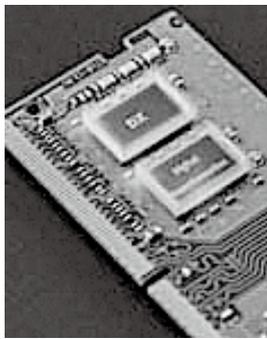


川島秀夫

いても職員数の減少が予想され、市役所の仕事の仕組みそのものを変革する事が求められております。「自治体の情報システムの標準化・効率化」や「テレワークの推進」により、新しい働き方の実現を目指します。

注・DX(デジタルトランスフォーメーション)

他に、2025年問題、高齢者運転免許返納について質問しました。



市のデジタル化(DX)推進

質問 行政手続きのオンライン化はいつからですか。

現在、やまなしくらしねつとを利用し、「子ども子育て・児童手当」や「介護保険」等の業務は、電子申請手続きが可能です。又、「上野原市DX推進計画」を策定するにあたり、プロジェクトチームのメンバーが各課にオンライン化の希望についても確認中です。

質問 各課のオンライン申請手続きの内容は。

11月26日に開催した第2回プロジェクトチーム会議の中間報告では、各課において、オンライン化できる業務を検討している状況が報告されました。内容については現在精査中です。

質問 デジタル化に伴う人材の確保と育成については。

当市の現在の取組みは、情報推進担当に、会計年度任用職員を配置し、スケ



内田倫弘

ジュール管理や資料作成、職員研修、国等の情報収集等、担当事務を担っています。庁内組織はDX推進計画策定の為、プロジェクトチームも立ち上げ、DX人材の育成を図り、DXを踏まえた政策能力向上にも繋がりたいと考えています。

質問 市の窓口や公共施設のキヤッシュレス化について。

市の窓口や公共施設のキヤッシュレス決済については、現在、導入しておりませんが、今後、オンライン化が進むにあたり、上野原市のDXを推進する上で、導入する準備をしなければならぬと考えています。



地域とのつながりの大切さ

市 民

の 声

消防団は、本業を別に持つ一般市民で構成される防災組織です。普段、私は農業を中心に様々な仕事をしていますが、火事、水害、遭難などの災害時には、人命救助および防災活動に携わります。どこに誰が住んでいるのか、どこに水利があるのか、街並みや山の地形など、地域のこと分かる住民が積極的に動いて、自分たちの手で地域を守ることが重要です。



上野原市消防団
富澤 太郎さん

入団してまだ7年と経験は少ないですが、すぐに火災の現場にかけつけ、人数が集まる消防団員の先輩方の姿から「地域を守る」ことを教わってきました。消防本部の職員の方々と連携しながら、有事に備え、定期的に点検や訓練などに従事しています。消防団をきっかけに地域や市内の様々な方と知り合い、ともに活動してきたことは大きな財産です。

西原分団所属

3

月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/27	28	3/1	2 本会議 (初日) 傍聴可	3	4	5
6	7 委員会 総務産業 文教厚生	8	9 委員会 予算特別	10	11 委員会 予算特別	12
13	14 委員会 予算特別	15	16 一般質問 傍聴可	17 一般質問 傍聴可	18	19
20	21 春分の日	22 一般質問 (予備日)	23 本会議 (最終日) 傍聴可	24	25	26

議会傍聴のときは、感染防止のため、マスク着用、手指消毒をお願いしています。

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

オミクロン株が日本でも増え年末年始の帰省や旅行をキャンセルする等、少し寂しい年末年始だとの報道もありました。上野原市も2年間、従来通りの地域行事が中止となり、節目が無いまま1年が終わり、気持ちの切り替えが無く新年を迎えてしまったと言う方もいるのではないのでしょうか。しかしながら昨年末には軽症者向けの経口用新型コロナ治療薬が承認される等、少しずつ対策が進んできています。上野原市でも今号が発行される2月から高齢者等のワクチン接種の3回目が始まります。

今年こそは普通の日常に戻れることを願っています。(内田)



議会議事録
QRコードです



議会だより編集常任委員会

委員長 川田 好博
副委員長 山口 薫
委員 内田 倫弘
委員 八木 一雄
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子